

柳町まちづくりの会だより

第三回

町の将来の夢を実現に向けて行動を起こそう

【柳町まちづくりの会】

私たちがまちづくりの会は微力ながらも近隣および町民の方々の為に、又、高齢者に優しい、若い人達にも住みやすいまち。買い物にも便利なまちを目指しています。まちづくりの会の専門家・学識経験者をお呼びして四回に渡り勉強会を行なって参りました。しかしながら、ひと握りの人達では実現は出来ません。皆様のお力が必要なのです。

区のマスタープランに沿った

まちづくりの交渉を行う

【中小企業診断士 野村潔氏】

新宿区には7ブロックに別れた商店街振興プランがあります。区のマスタープランに逆らった提案をいくらしても駄目な訳で、それを踏まえた提案と交渉になるでしょう。又、道路が拡幅され、きれいなまちと広い道路が出来上がっても、近くに商店街が無くなったら、買い物もサービスも遠くまで行かなければならなくなり、このまちの住民たちが必ずしも満足するものではありません。商店街を残しつつ、住みたいまち、訪れたいまちにしたい。当地区は歴史を感じさせる神社・寺・町名などが残っています。これらの歴史的文化的背景をまちづくりに活かさない手はないのです。大江戸線の整備により市谷柳町周辺の交通アクセスが良くなったことを、商店街の活性化につなげ、住民の生活を良くすることが区の方針にもうたわれていることを認識して、区と折衝していくことが必要であると思います。(新宿区まちづくりの方針・当地区は歴史を感じさせる神社・寺・町名などが残っているこれらの歴史的・文化的ストックを生かしたまちづくりをする必要がある)

4回目の会合に参加された方(中小企業診断士野村潔・新宿区住宅まちづくり審議会委員内藤幸一/新宿区まちづくり課大竹弘和・佐々木哲也/区議会議員小松政子/久保博義・岡田光雄・橋本公雄・川上浩・部敏昭・山東陽一・渋谷瑞恵・林良久・田川勝道・中根ヨリ子・林尊弘・久保正子・石割恵子・石割洋夫・林秀三・井上年郎・八木正彦・榎本吉典・中居清次・甘利美千代・松下巖)

【第四回の日程】 七月九日(金)新・浪漫亭二階会議室・夜七時より。住民の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

「意見・質問などがございましたら、まちづくりの会事務局川上(三三四一・三七九七)・八木(三三四一・九八八七)まで連絡してください。」

会は皆さんがどんな町にしたいかを募集しています。

【近藤勇篇】

新選組の局長を務め、わずか三四歳で亡くなった。その近藤勇が天然理心流を学び武士になることを夢見ていたのが我が町柳町に在った試衛館道場でした。一五歳の時、家人の留守中に強盗が押し入った。日頃の修行の成果を試さんと飛び出そうとする兄を「賊は入ったばかりの時は気が立って警戒しているから、むしろ立ち去る時の方が気が緩むもの。その隙を狙いましょう。」と制し、みごと賊の不意をつき退散せしめたという。この件が天然理心流の近藤周斎に養子を迎えられるきっかけとなります。

http://www.asahi-net.or.jp/~gd8s-nki/shi_ei_kan/

大胆なれば幸運をつかむ

【新宿区住宅まちづくり審議会委員 内藤幸一氏】

(立川駅北口総合開発の立案・多摩モノレールの立案・軽井沢の迎賓館を造る)

私が心配しているのは道路拡幅によって(特に東側)商店街にはマイナス条件が増えるので活性化の面から工事を早めてもらう方が現実の問題として切実と考えている。総合的に物事を捉え先手を打たなければいけない時期です。都でも区でも予算が厳しくなっているから、前よりも簡単に予算が出ないことを念頭において下さい。具体的な事と全体的な事をどのように融合して考えていくか。理想論ばかりでは駄目である。市谷柳町が置かれている立場を考え、現在の環状3号線の拡幅というものをどうしたらプラスにもっていかれるかということである。例えば、この地区は一步奥に入ると幅の狭い道路や路地などに比較的小さな住宅がたくさんあり、火災が発生した時の延焼が切実な問題としてある。道路拡幅で道路沿いの建物が無くなったら、後ろに残った人達が総合化(集合化)すれば安全でより良い住環境になりますけど、個々がバラバラになってしまつと再開発の補助金も出ない。規模が小さくなるほど融資や補助金などが不利になる。全住民の皆さんがおのこの問題を踏まえ、「まち」という大きなまとまりの現実と理想を皆さんと早めにコンセンサス(合意)をもって前向きになることが必要ではないかと思っています。

最近道路拡幅工事が完成した例(レポート)

港区三田二丁目〜五丁目商店街【事務局八木】

大江戸線赤羽橋を下車。慶応大学方向に向かった商店街を十年間見てきました。柳町より道路幅が少し広い30M(柳町は27M)で、歩道はカラー仕上げで4Mです。中央分離帯は鉄柵で、一部が植え込みになっています。横断歩道は150〜200mに一箇所ぐらいで東側商店街と西側商店街は完全に孤立した感じで車が通過するだけに見えました。商店街の形態は三田国際ビルを中心に8階建てから10階建てぐらいの大小のビルが立ち並び元からあった商店主が商売をやめてビルに立替た後事務所や全国展開をしているチェーン店に貸しているケースが多く見受けられました。又、交通の便が良いのでマンションも多く建ち始めていました。



4 Mの歩道



植え込みのある中央分離帯

三田五丁目から十目を望む
正面に見えるのは東京タワー

つまらないまちにしない様、
これからもいろんなまち並
みに興味をもって眺めて見
ましよう。きつこのまちに
合った、このまちだけの景色
も見えてほしいです。

